

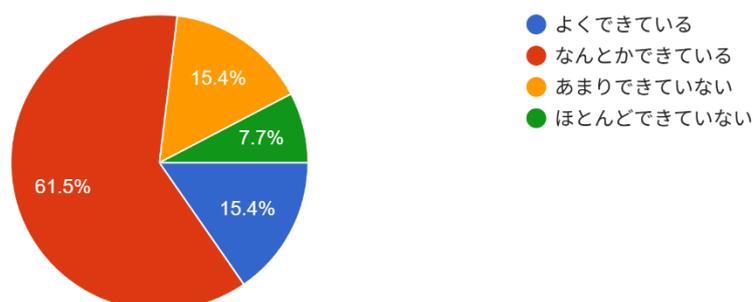
令和7年度サービス評価

自己評価1.初期支援（はじめのかかわり）

前回の改善計画

自己評価の作成を常勤職員の参加が1/2以上になるようにする。

13件の回答

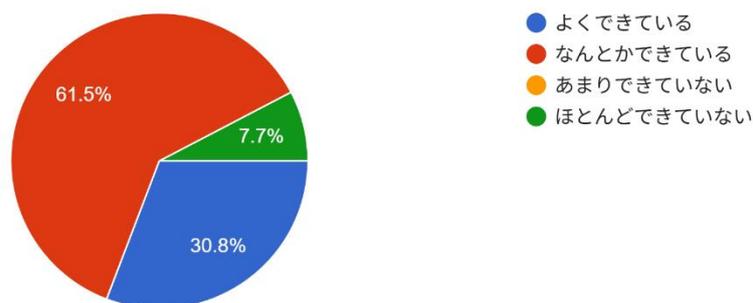


前回の改善計画に対する取組み結果

常勤が出席できるように調整をしているが、かろうじて常勤職員の1/2以上の参加となっている。全職種が参加できるようにしているため、参加者のいつも同じような人になってしまう。いろいろな職員が出れる体制が整えられると良い。

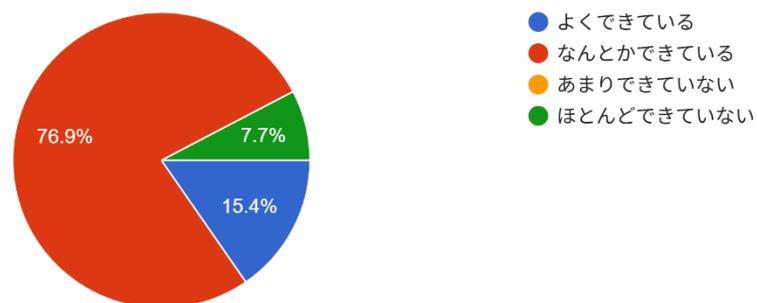
本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？

13件の回答



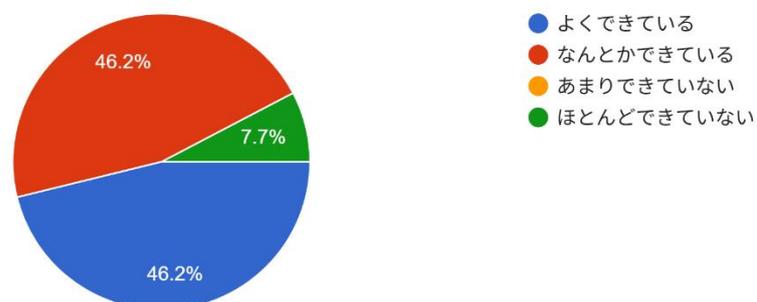
サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？

13 件の回答



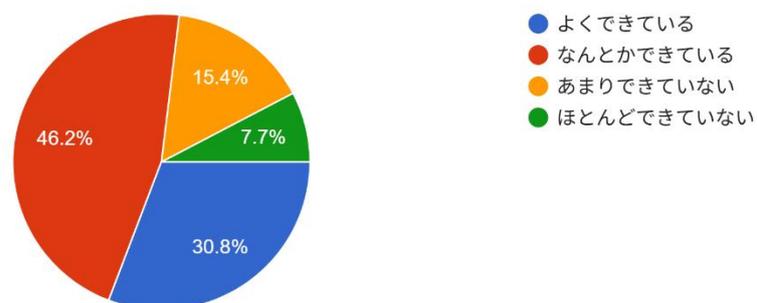
本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？

13 件の回答



本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？

13 件の回答



できている点

- 帰りの送迎時、ご家族様が見えていた時は、本日の利用者様のご様子などを積極的にお話しさせてもらいその会話の中でご家族様からも私に対して話したいことを話していただけるような流れに持っていつていること。
- デイサービスで1日楽しく過ごされ満足して送迎できている事。
- 利用開始前、ケアマネから詳細の報告、利用者様との面談など情報共有できている。初利用時には気をつけ、なるべく声を掛けるなど配慮している。スタッフにもこれからのサービスについての説明をしっかりとっている
- 送迎時に家族に通り時や訪問時の様子を伝えることができている。また家族からの自宅での様子の聞き取りを行っている。
- 利用者の気持ちを考えながら、まずは寂しくならないように接する事。相手の気持ちを汲みながら接するように心がけている。

できていない点

- 家族様と話しをする機会が少ないので思いを聞けていないと不安。家族様とのコミュニケーションはケアマネの比重が大きくもっと自分たちにできることがないかと思う。家族様との関係づくりや理解をもっとできるようになりたい。
- 相手の気持ちを汲み取りながらコミュニケーションをとるよう心がけているが気持ちを汲み取るのが難しく勘違いして気持ちを汲み取ってしまうこともあった。

なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）

- 送迎時や訪問時に家族様がいる場合は話す機会があるが、いない場合はケアマネを通じて以外話す機会がない。
- 午前中は職員がそれぞれの業務が忙しく不安を抱える利用者の相手ができない状況である。ましてや他利用者との交流援助もできない。午後はレクリエーションやおやつがありゆっくり話もできない。

次回までの具体的な改善計画

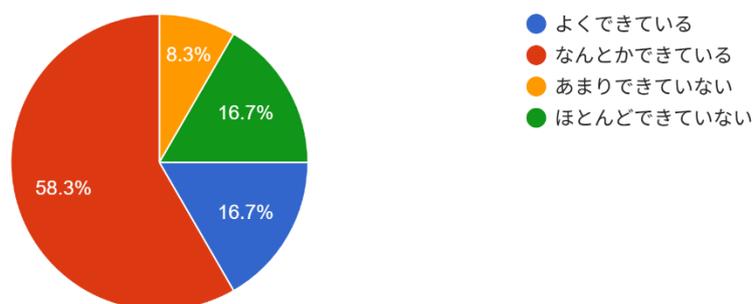
利用開始初期はご自分の思いなど伝えにくく、利用者様、家族様ともに不安が大きいため関わりを多く持ち、JOYスペースでの支援に慣れてもらえるように努める。

自己評価2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）

前回の改善計画

入り口や環境面での画像を共有するため、Instagramや運営推進会議での資料に加える。

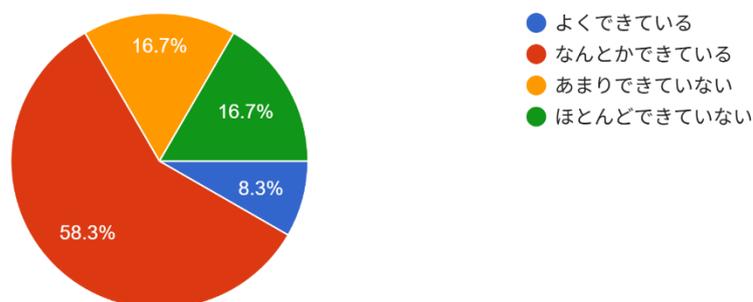
12件の回答



前回の改善計画に対する取組み結果

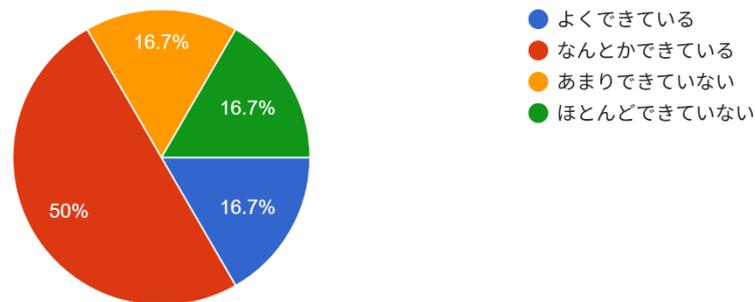
Instagramを活用することができた。家族様から意見をいただくこともあり、入り口や環境面だけではなく普段の様子や楽しく過ごされている姿を発信することができている。

「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？12件の回答



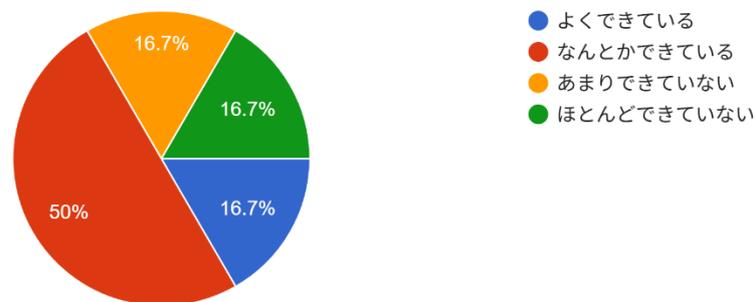
本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？

12件の回答

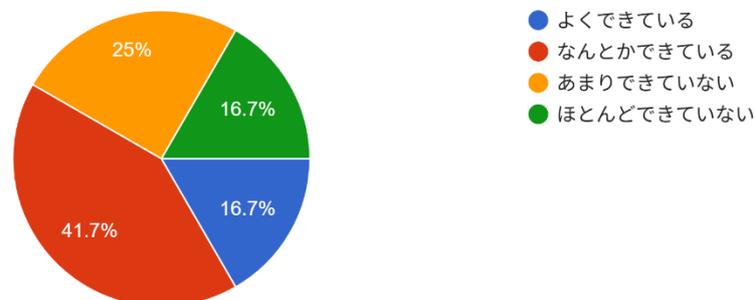


本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？

12件の回答



実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？12件の回答



できている点

- 利用者様との会話を通じて「やりたいこと」「好きなこと」「行きたい場所」を引き出し、できる限り支援につなげている。面談や会議を通じた情報共有も進み、職員間で共通理解が深まっている。

- 季節の行事やレクリエーションを継続的に実施し、利用者様が笑顔で過ごせる時間を提供している。また、デイ・訪問・泊まりを組み合わせ、家族の介護負担軽減と在宅生活の継続を支援している。
- 認知症による繰り返しの訴えなども「意思」として尊重し、可能な範囲で寄り添う姿勢を大切にしている。職員も経験を重ね、方針確認をしながら必要な支援を考え、安心できる生活環境づくりにつなげている。利用者様とのコミュニケーションの中で、やってみたい事や好きな事、行きたいところなどを聞き出し支援に繋げている

できていない点

- 自分から思いを発信できない利用者様には支援につなげにくく、目標や「したいこと」が見えにくい状況がある。また、「なにもしたくない」との声や外出への意欲低下も見られ、ゴールの把握が難しい。共通して「自分の足で歩きたい」という思いはあるが、一人ひとりの最終的な目標（何を、どこで、誰と過ごしたいか）までは理解しきれていない。さらに、認知症などで思いを伝えられない方への支援や促しが十分にできないこともあり、「～したい」という発信にすぐ応えられない場面もあった。コミュニケーション取りたがらない利用者様や思いを伝えられない方などは出来ていない

なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）

- 自ら発信できる方を優先してしまうことや、「何もしたくない」と言われると対応が進みにくいことがある。また、利用者情報や目標の把握不足、ミーティングなどへの関与不足も影響している。さらに、ご本人の金銭面・体調の変化・人手不足などの環境的要因、無意識に価値観を均一化してしまう関わり方、そして職員自身の技術や知識不足、コミュニケーション不足、時間的余裕のなさなどが重なり、十分な支援につなげていない。ご自分で言えない方はどうしても後回しになってしまい出来る方を優先してしまうため

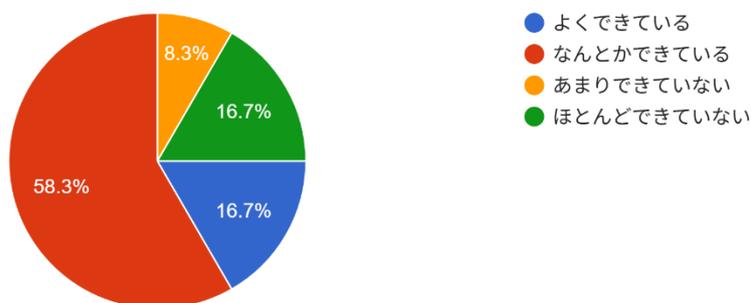
次回までの具体的な改善計画

- 利用者一人ひとりの思いや目標を把握し個別性を尊重した支援を行うため、月1回の面談や日々の会話で聞き取った内容を記録にまとめ、毎月の共有する。

自己評価 3. 日常生活の支援

前回の改善計画

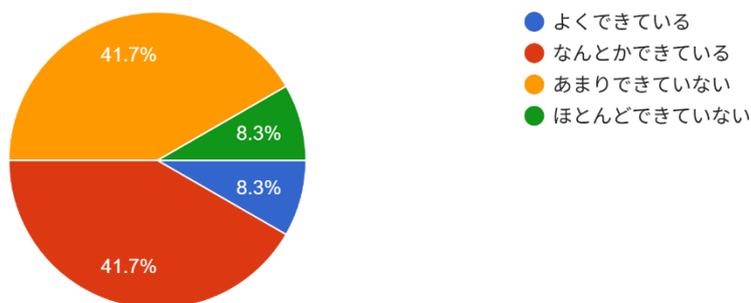
利用者様にとっての本音に支援ができるように、利用前に事前情報をしっかり伝えることでその人の背景を理解し支援につなげる。12件の回答



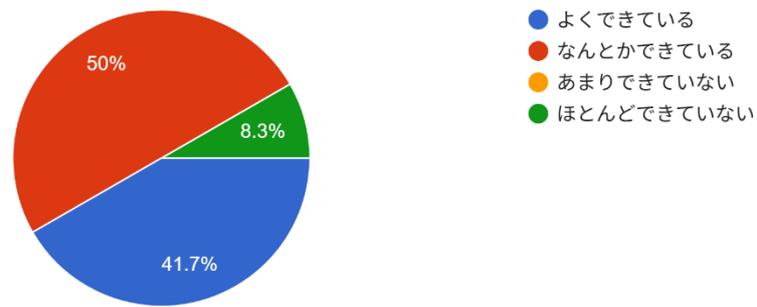
前回の改善計画に対する取組み結果

- 昨年に比べて背景を理解しながら支援できていると感じる。訪問支援においても、業務が終わったらすぐ退室するのではなく雑談を交えて関わり、話しやすい環境づくりを心がけている。一方で、利用者様の情報共有は行えていたものの、本音を十分に把握できていたかは課題として残っている。また、一部では十分に携わられていない状況もあった。

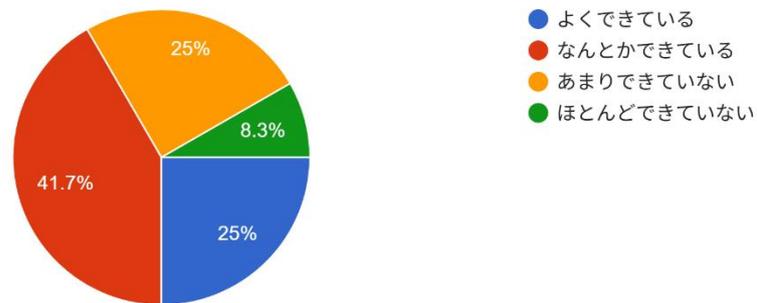
本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？12件の回答



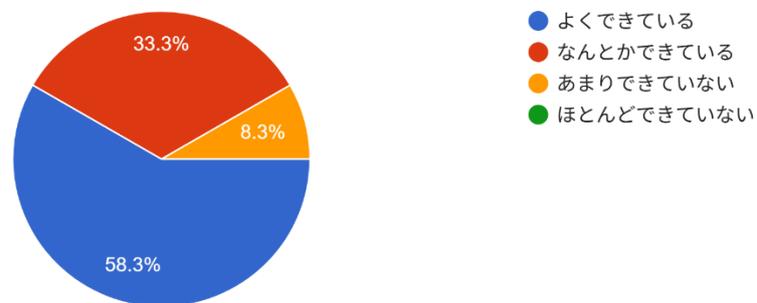
本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？12件の回答



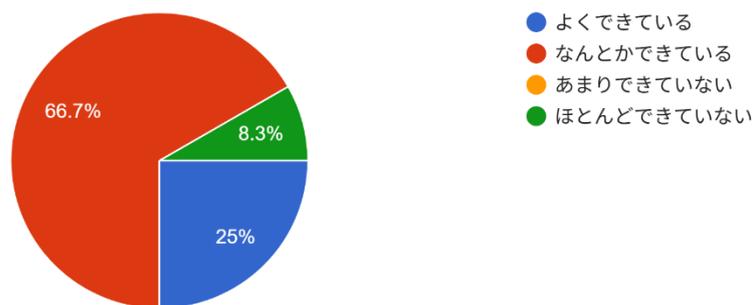
ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？12件の回答



本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？12件の回答



共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？12 件の回答



できている点

- 利用者様の日々の変化に気づいたらすぐに報告・共有し、職員同士で話し合いながら適切な対応ができている。体調や訴えは記録に残し、必要に応じて受診や支援内容の調整につながられている。また、ご本人の残存能力を大切にし、時間がかかってもできることは任せ、必要なときだけ補助する姿勢を心がけている。全てではないが、利用者様に必要な支援は提供できていると感じられる。

できていない点

- 利用者様の以前の暮らしについて十分に把握できておらず、情報がケアマネ任せになっている。日々の何気ない様子の記録や声にならない思いに気づくことも不十分で、施設外での生活や本当の気持ちまで理解しきれていない。そのため、以前の暮らしを10個以上具体的に挙げられる段階には至っていない。

なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）

- 業務の忙しさから細かな変化を十分に記録できず、生活環境や以前の暮らしを知る機会も少ない。直接関わる時間や職員同士の会話が不足し、入職間もない職員は理解が浅くなりやすい。また、自ら発信できない利用者は家族の意向が優先されがちで、会話から思いを引き出すことも不十分。初期情報が少ないまま利用が始まり、関わりながら把握している状況が理由となっている。

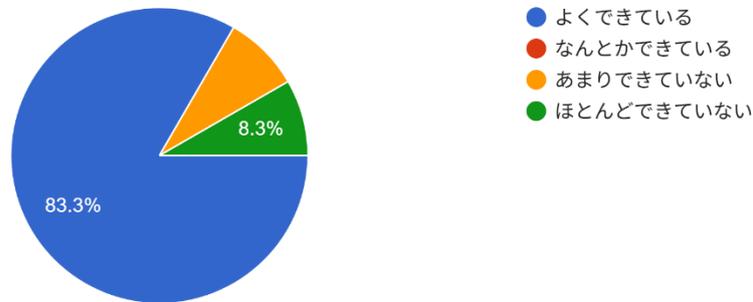
次回までの具体的な改善計画

- 利用者様の何気ない変化や行動を丁寧に記録し、職員全員で共有することで、支援につながる気づきを増やしていく。

自己評価 4. 地域での暮らしの支援

前回の改善計画

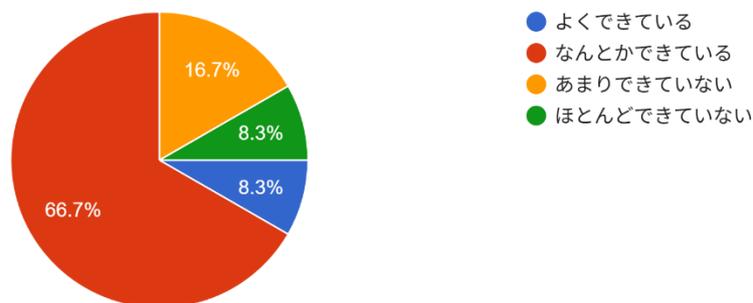
利用者様本人やJOYスペースとして地域の方との関わりを持てるように、送迎時や訪問時に地域の方とのあいさつをしっかりと行い、少しでも関わりがもてるようにしていく。12件の回答



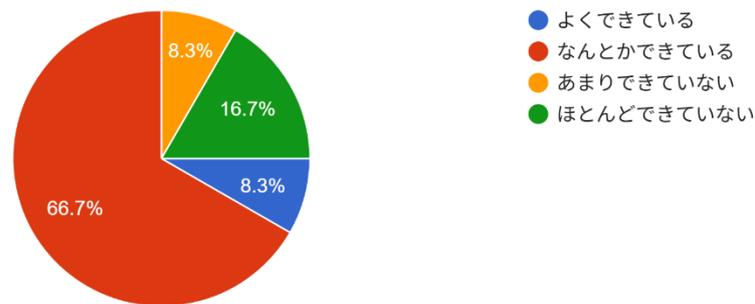
前回の改善計画に対する取組み結果

送迎や訪問時に地域の方へ積極的にあいさつを行い、利用者様や家族、近隣住民との関わりが深まった。スタッフも「JOYスペースの顔」として意識を持ち、印象を大切に行動できている。笑顔でのやりとりや利用者様の様子を伝える工夫も見られ、地域との良好な関係づくりにつながっている。一部関わりが少ない職員もいるが、全体としてあいさつの実践は定着しつつある。

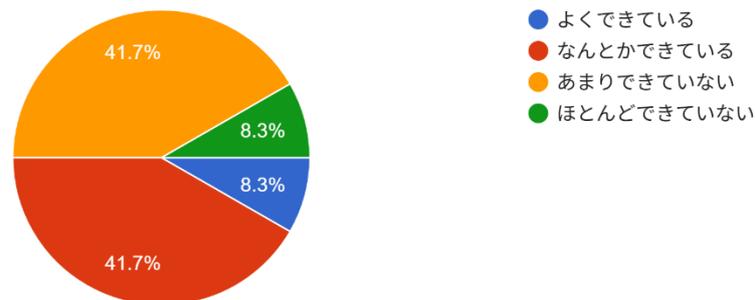
本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？12件の回答



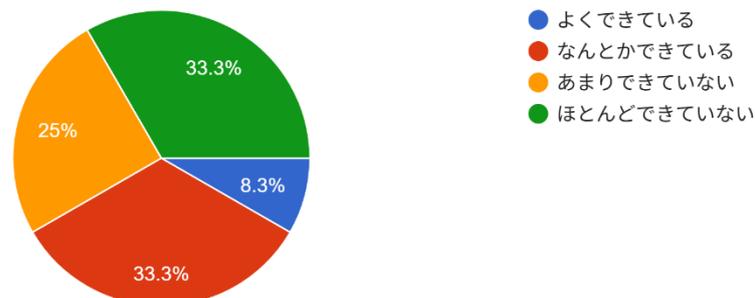
本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？12件の回答



事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？12件の回答



本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？12件の回答



できている点

- 送迎時には家族様へ体調や日中の様子を伝え、家族様の知らない時間を情報共有できている。地域の方へ挨拶をしたり展示会に参加するなど、積極的に関わりを持つ取り組みもできている。近所の方や親戚との会話を通じて、利用者様とのつながりを大切にする姿勢が見られる。訪問時には周囲の様子にも目を配り、挨拶を欠かさず行っている。さらに、認知症カフェへの送迎や通院支援、ヤクルトや宅配弁当との情報共有など、地域資源の活用や外部とのつながりも意識的に行えている。

できていない点

- 利用者様の若い頃の活動は聞き取れても支援につなげにくく、自宅での生活や人間関係の把握にもばらつきがある。民生委員や地域資源との関わりが乏しく、課題をJOYと家族様だけで解決しようとしがちである。また、会えない家族様とは連絡帳やケアマネを介したやり取りに限られ、近隣住民との交流も十分には持てていない。

なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）

- 利用者様と職員の年齢差やコミュニケーション不足により、背景の理解や共感が難しいことがある。さらに、地域資源や制度に関する知識不足や費用面への不安から、外部への支援依頼に消極的になることもある。利用開始間もない方や一人暮らしの方の情報不足、ご家族様に直接お会いできる機会の少なさも、十分な把握を妨げる要因となっている。

次回までの具体的な改善計画

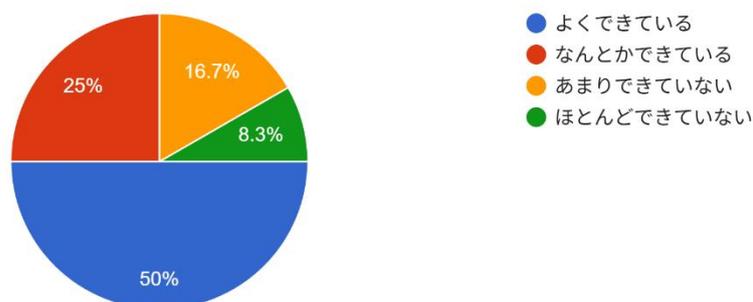
- 挨拶や一言の会話、連絡帳やケアマネを通じた情報交換、地域資源の把握を実行し、利用者様の過去の経験を今の支援につなげる

自己評価5. 多機能性ある柔軟な支援

前回の改善計画

利用者様の変化に気が付くことが出来るように、利用者様の気づいたことを細かに記録に残すようにする。その時の表情や話していることなど些細な事を残せるようにする。

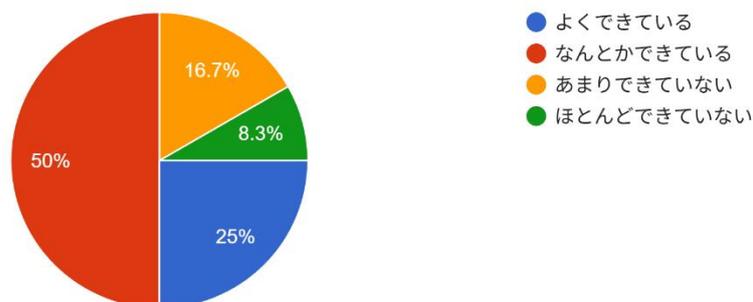
12件の回答



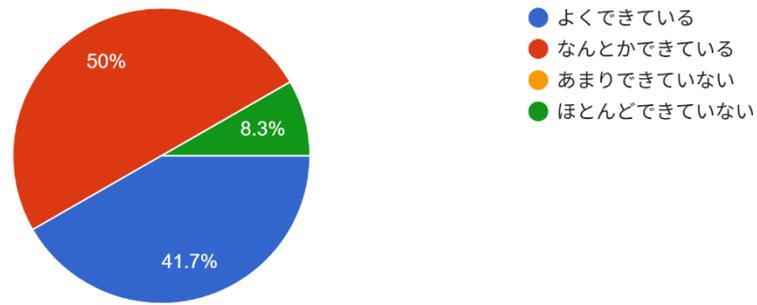
前回の改善計画に対する取組み結果

利用者様の変化や気持ちに寄り添いながら関わり、日々の様子を記録や申し送りを通じて共有できている。細かな変化や不眠などの状態を把握し記録に残すよう意識しており、口頭やケアカルテを使って他の職員へ伝達も行えている。一方で、良いことも含めて記録する意識や表現力の工夫は、今後の課題として残っている。

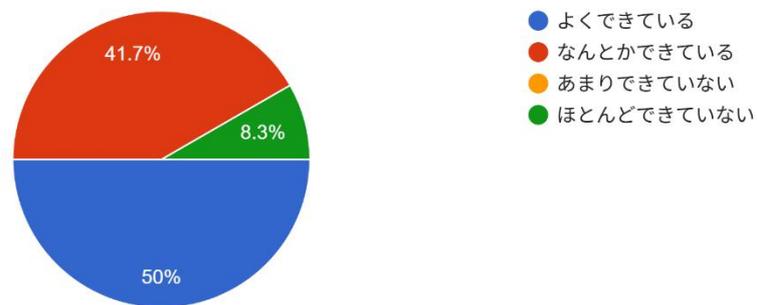
自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？12件の回答



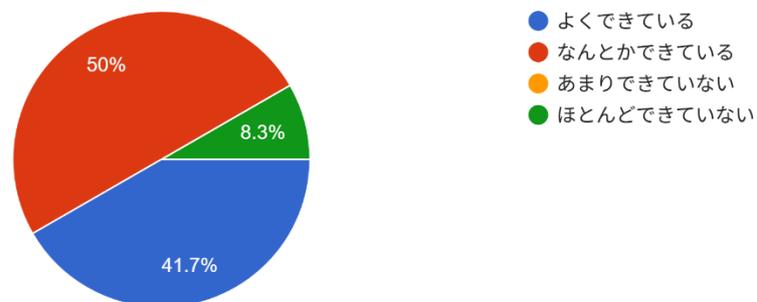
ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？12件の回答



日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか？12件の回答



その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？14件の回答



できている点

- 利用者様やご家族の状況に応じて、体調変化への対応や通い・訪問の調整など柔軟に支援できている。看護師やケアマネ、職員同士で相談し合い、記録を通じて情報共有もしっかり行えている。地域資源や外部サービスも活用し、利用者様が過ごしやすい環境づくりに取り組んでいる。

できていない点

- 地域資源の理解や活用が不十分で、金銭面の制約からニーズに応えられないこともある。利用者様の状態を記録しても表現が伝わりにくい場合があり、事業所の都合に合わせたサービスになってしまうこともある。また、会議への不参加や意見の分かれた時の対応方法が不明確で、報連相も口頭や文章で十分に伝わらないことがある。

なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）

- 地域資源の把握や活用が不十分でケアマネ任せになっており、業務の忙しさや人手不足で対応が追いついていない。記録が簡略的で具体性に欠けることや、報連相が十分に行えない場面もあり、情報共有に課題が残っている。

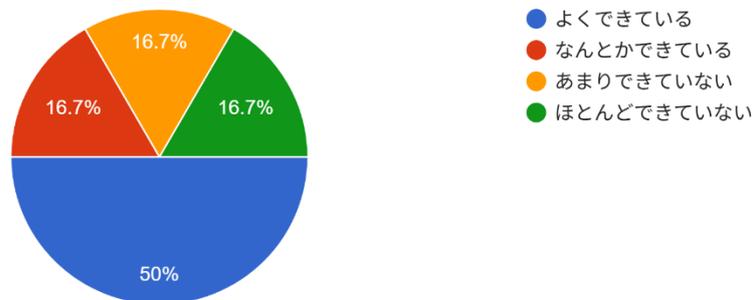
次回までの具体的な改善計画

- 誰が読んでも理解できる分かりやすい記録方法を身につける。記録には「不機嫌」といった簡単な表現だけでなく、表情や言葉、具体的な状況を盛り込み、臨場感のある伝わりやすい内容を心がける

自己評価6. 連携・協働

前回の改善計画

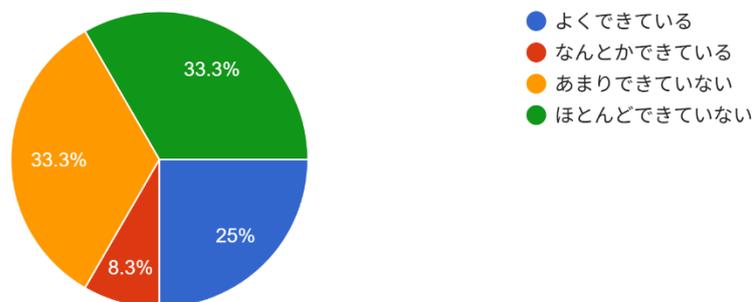
行事や日常の様子などの写真をSNSで増やすことで、JOYスペースでの利用者様の様子や雰囲気を知るようになる。地域や関係機関との関わりにつなげていく。14件の回答



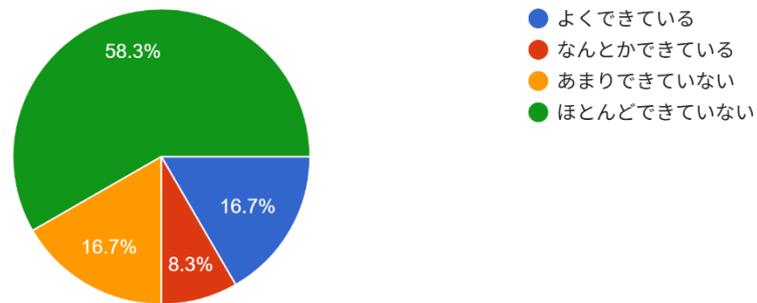
前回の改善計画に対する取組み結果

利用者様の作品展を地域施設で紹介し、Instagramや展示会を通じて活動の様子や雰囲気を地域に発信できている。行事や日常の様子を写真で分かりやすく伝える工夫もあり、SNSの更新を継続的に行うことで地域の方々にも関心を持ってもらえている。実際に家族様から「ホームページやインスタを見た」との声もあり、広報活動を通して地域やご家族とのつながりを広げることができている。

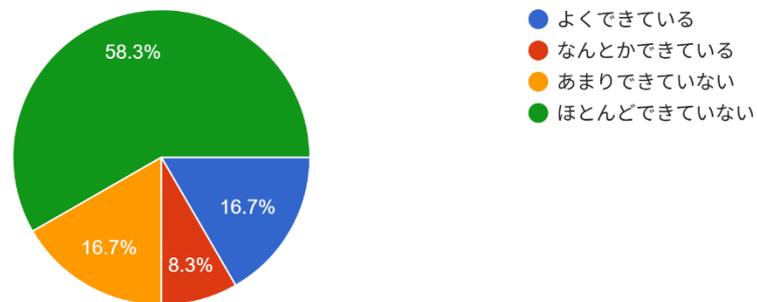
12件の回答



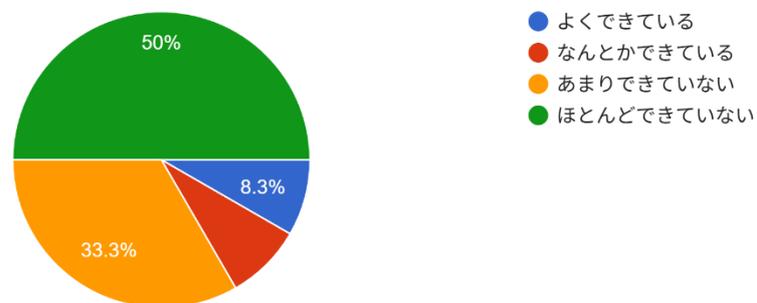
自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？12 件の回答



地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？14 件の回答



登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？14 件の回答



できている点

- SNSや写真を活用し、JOYスペースの活動や雰囲気地域の方に知ってもらうための発信に積極的に取り組んでいる。交流会も年に数回実施できており、地域や関係機関とのつながりを保っている。また、訪問看護との連携も円滑に行われており、利用者様の支援体制が整っている。

できていない点

- 地域や他機関との会議・イベント・活動への参加がほとんどできておらず、担当者任せになっている。地域自治体や各種機関とのやり取りの機会も少なく、事業所として地域の一員であるという意識がまだ十分に持てていない。

なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）

- 会議や地域活動への参加機会が少なく、他のサービス機関や会議内容を十分に把握できていない。勤務体制や時間的余裕の不足もあり、会議や取り組みに参加することが難しい状況となっている。

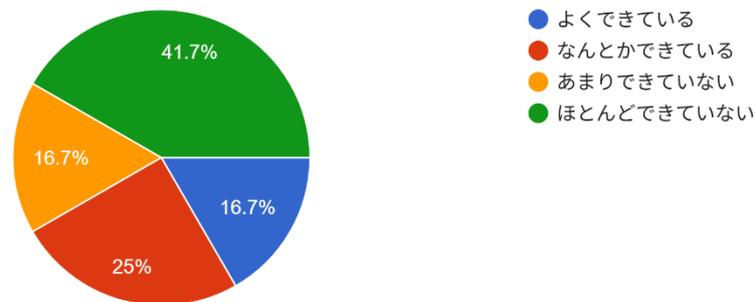
次回までの具体的な改善計画

- 可能な範囲で職員全員が会議や地域の活動に参加できる時間を設け、交流を広げる。

自己評価7. 運営

前回の改善計画

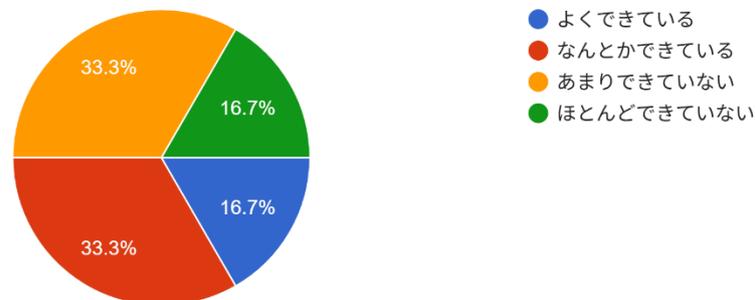
地域だけでなく、同じ小規模多機能などとの関わりをもち、意見交換を行えるように取り組む。12件の回答



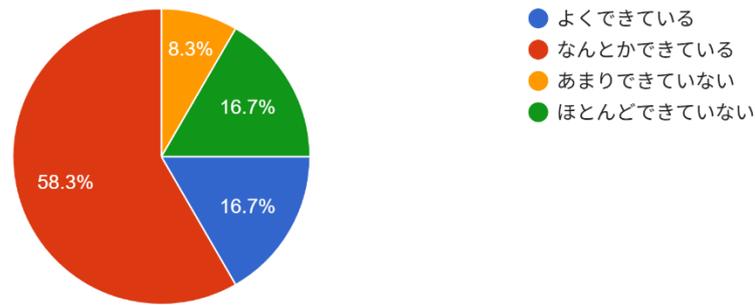
前回の改善計画に対する取り組み結果

同じ小規模多機能事業所との交流会や意見交換会を行う機会があり、市内のひだまりの郷などと情報交換を通じて業務の参考になる学びを得られた。研修の場でも他事業所の職員と意見交換ができ、介護に関する視野を広げる良い機会となっている。

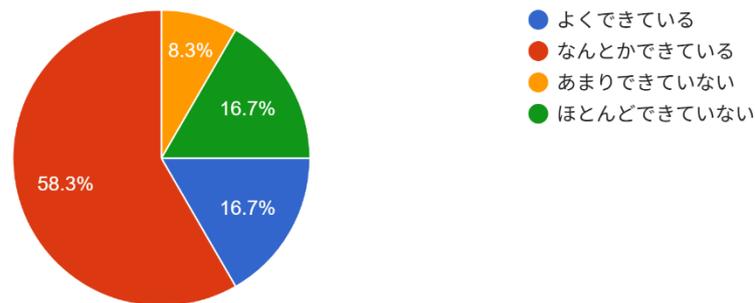
事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？12件の回答



利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？12件の回答

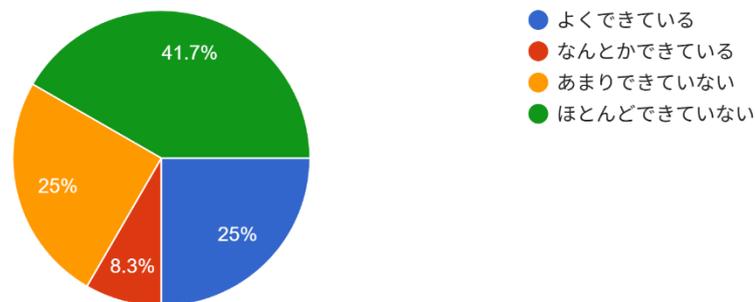


地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？12件の回答



地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？

14 件の回答



できている点

- 利用者様やご家族からの意見・苦情があった際には、その都度報告・相談を行い、職員間で情報共有しながら改善に努めている。また、地域との関わりとしてスクールガードへの参加も見られ、JOYスペースを知ってもらう機会づくりにもつながっている。職員同士の意見交換も行われ、チームとしての連携が進んでいる。

できていない点

- 地域との協働や関わりの機会が少なく、担当者任せになっている。多職種や他事業所との関わりも十分でなく、地域からの意見や苦情を把握できていない点も課題となっている。

なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）

- 地域との関わりや意見・苦情への対応について、どのように動けばよいのか分からず、取り組む余裕や機会も少ない。管理者・看護師・介護士それぞれの立場で考え方が異なり、自分の意見を言いづらいときもある。

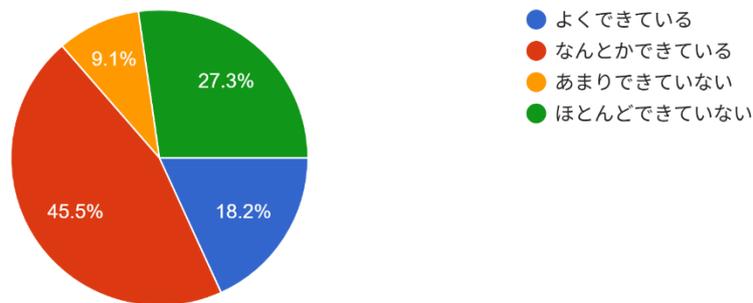
次回までの具体的な改善計画

- 地域や他事業所とのつながりを少しずつ広げるため、担当者任せにせず、関心のある職員が一度会議や地域行事に同席してみるなど、できる範囲で参加の機会を増やしていく。

自己評価8. 質を向上するための取組み

前回の改善計画

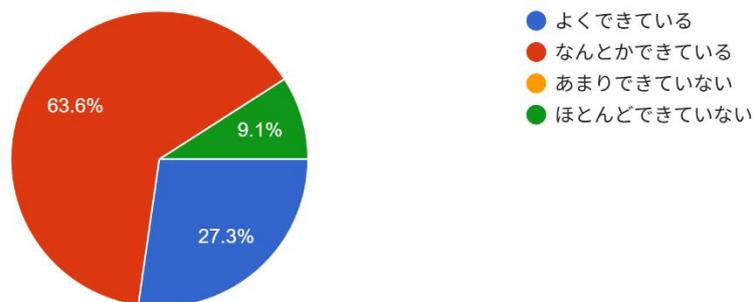
スキルアップのために地域の研修会などの外部の研修や他事業所との交流を図り、個々で興味があるものから参加していく。12件の回答



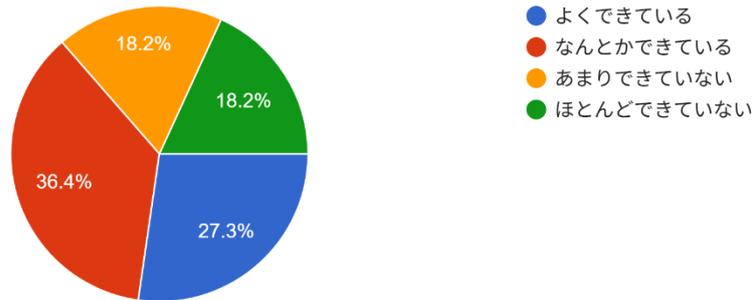
前回の改善計画に対する取組み結果

- リモートを含め、各スタッフがそれぞれ必要な研修に参加できており、年に数回は研修の実施や参加の機会を持つことができた。ひだまりの郷との意見交換会などにも参加し、できる範囲で学びや情報共有を行う取組みが進められている。

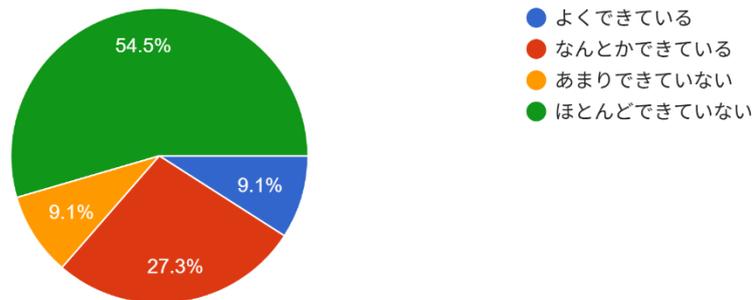
研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか？12件の回答



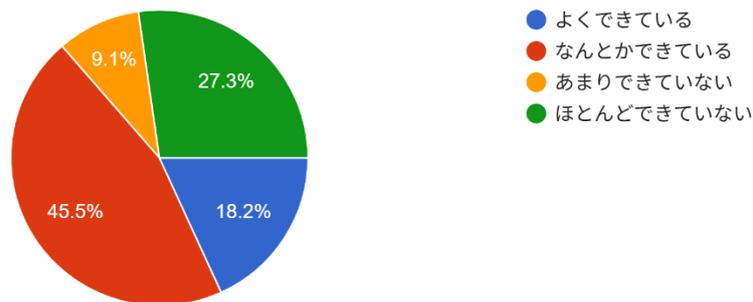
資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか？12件の回答



地域連絡会に参加していますか？12件の回答



リスクマネジメントに取り組んでいますか？12件の回答



できている点

- 記録や情報共有を通じてリスクを減らす取り組みができており、職員同士の意識も高まっている。それぞれに合った研修や施設内研修へ積極的に参加し、資格取得やスキルアップにも努めている。地域の研修や展示会などにも参加し、地域との関わりを持ちながらJOYスペースの活動を知ってもらう機会づくりにもつなげている。

できていない点

- 地域連絡会への参加が十分にできておらず、研修は管理者任せになっている。ヒヤリハットの記録も積極的には行えておらず、リスクマネジメントにおける危機意識の統一も課題となっている。自ら興味を持って研修を探し参加する姿勢がまだ十分に育っていない。

なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）

- 業務や人員の都合で時間の調整が難しく、研修や地域活動に参加する余裕が持てていない。リスクを予測して行動する意識がまだ十分ではない。

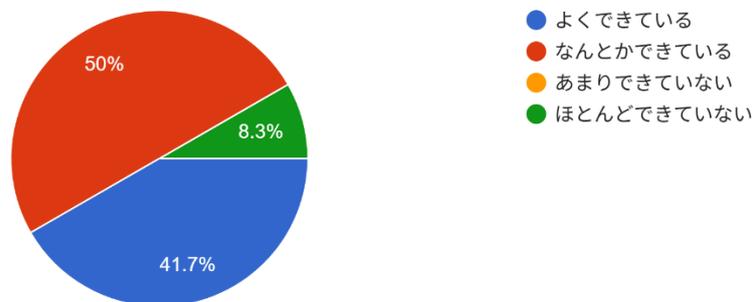
次回までの具体的な改善計画

- LINEグループなどで外部研修・オンライン研修の情報を共有し、誰でも参加しやすい仕組みをつくる。時間が合わない職員のために、短時間で見られる動画研修や記録閲覧の共有も取り入れる。

自己評価9. 人権・プライバシー

前回の改善計画

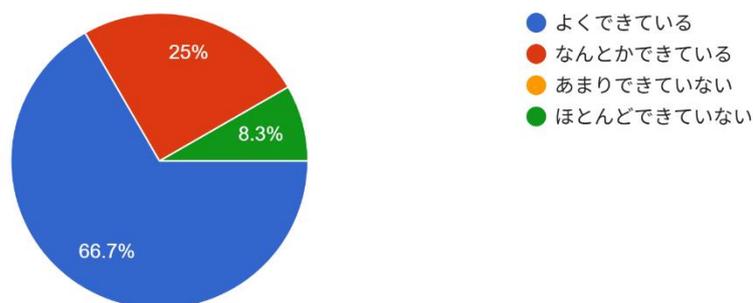
電子カルテになりタブレットの取り扱いについて、統一されていない事項がある。その一環として、ケアカルテはログインしたままにしないようにし、入力後はログアウトし情報漏洩に配慮する。12件の回答



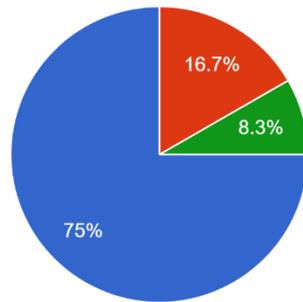
前回の改善計画に対する取組み結果

電子カルテ使用後のログアウトを意識できるようになり、情報漏洩への配慮が定着してきている。入力や送信後にログアウトすることを心がける職員が増え、導入当初に比べて運用面での意識も向上している。一方で、一部の職員ではログイン状態のまま使用を終える場面も見られ、引き続き注意喚起が必要。

身体拘束をしていない。12件の回答

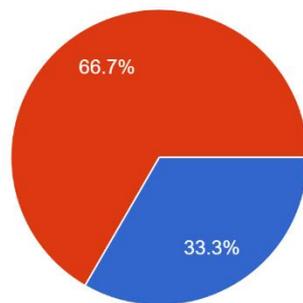


虐待は行われていない。12 件の回答



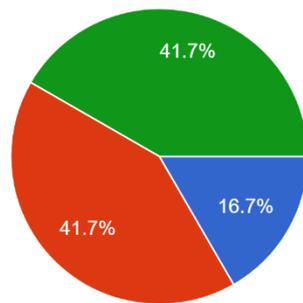
- よくできている
- なんとかできている
- あまりできていない
- ほとんどできていない

プライバシーが守られている。12 件の回答



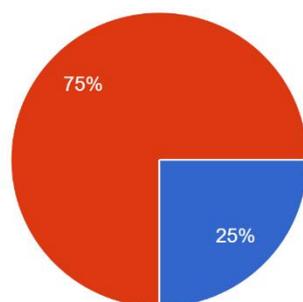
- よくできている
- なんとかできている
- あまりできていない
- ほとんどできていない

必要な方に成年後見制度を活用している。12 件の回答



- よくできている
- なんとかできている
- あまりできていない
- ほとんどできていない

適正な個人情報の管理ができている。12 件の回答



- よくできている
- なんとかできている
- あまりできていない
- ほとんどできていない

できている点

- 利用者様への声かけや言葉づかいに配慮し、相手の立場に立った対応を意識できている。訪問時には他の利用者様の個人情報を話さないよう注意し、身体拘束や虐待のない安心した支援が行われている。申し送り時などにも職員同士の気遣いが見られ、全体として介助時の声かけやマナーへの意識が高まっている。

できていない点

- 入浴や着替えの際に周囲への配慮が行き届かない場面があり、待ち時間に利用者様へ気を遣わせてしまうことがある。また、申し送りや情報共有の際に声の大きさに注意が足りず、個人情報が他の利用者様に聞こえてしまう可能性がある。

なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）

- 業務の重なりにより、すぐに対応できず利用者様をお待たせしてしまうことがある。物理的に話し合う場所が限られている点も課題となっている。また、申し送りにまだ慣れておらず、焦りから声が大きくなってしまう場面もある。

次回までの具体的な改善計画

- 入浴時には、脱衣室や浴室のドアに暖簾を設置し、外から中の様子が見えないようにすることで、利用者様のプライバシーを守る。

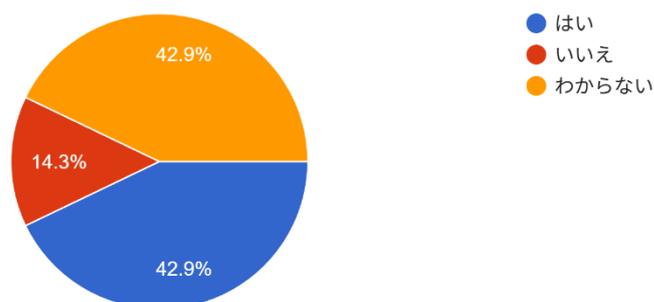
令和7年度サービス評価 外部評価

外部評価 地域かかわりシート①

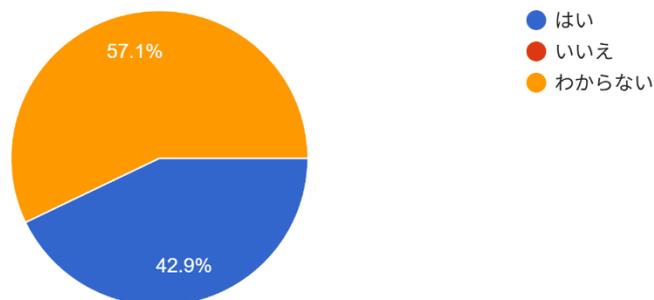
A. 事業所自己評価の確認

少なくとも常勤スタッフ全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？※常勤とは週32時間以上勤務の職員（正規・嘱託・臨時職の別ではない）

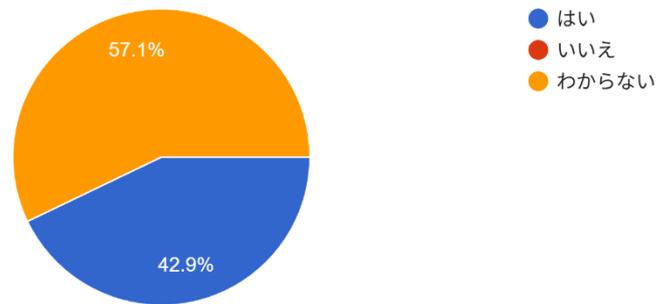
7件の回答



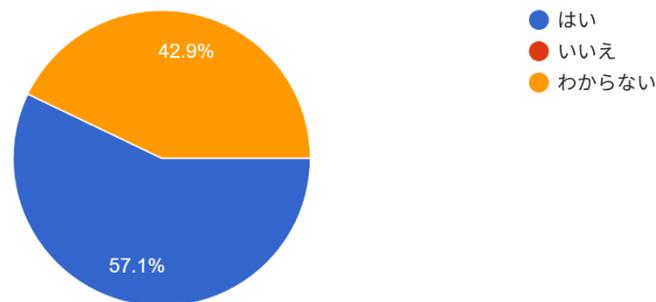
・事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されて実施していることが確認できましたか？※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい。7件の回答



・前回の改善計画に対して、具体的な取組みが行われていましたか？7件の回答



・今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？7件の回答

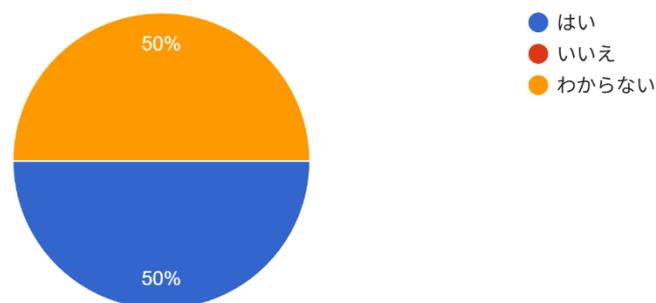


B. 事業所のしつらえ・環境

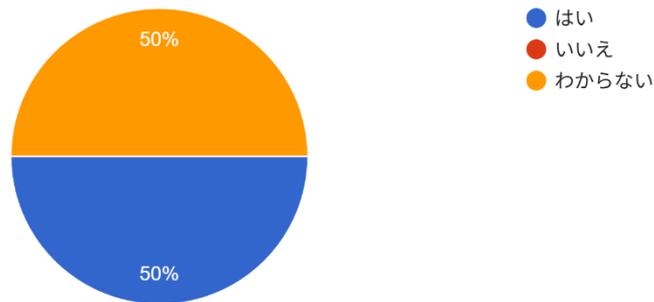
・前回の改善計画について取組んでいましたか？

【前回の改善計画】

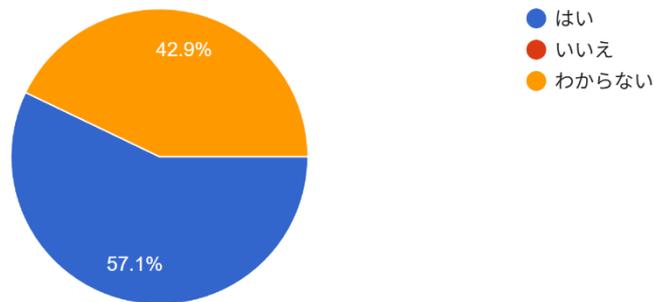
年に2回の広報誌を作成し、利用者様、家族様、地域の方へと配布し事業所の環境や活動を報告できるようにしていく。6件の回答



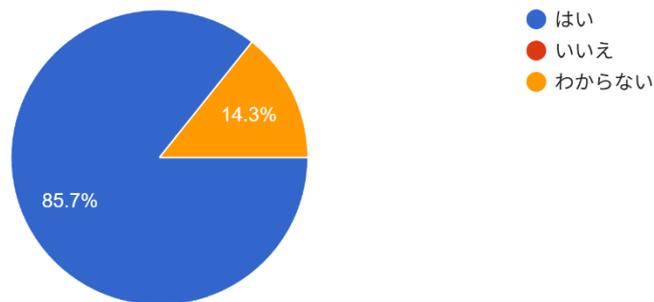
• 家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？6件の回答



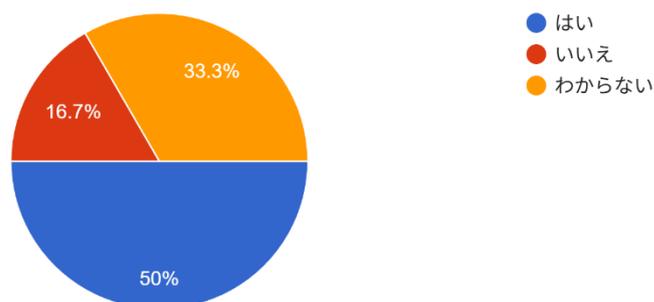
• 事業所は、居心地がいい空間になっていますか？7件の回答



• 事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？7件の回答



• 日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていませんか？6件の回答

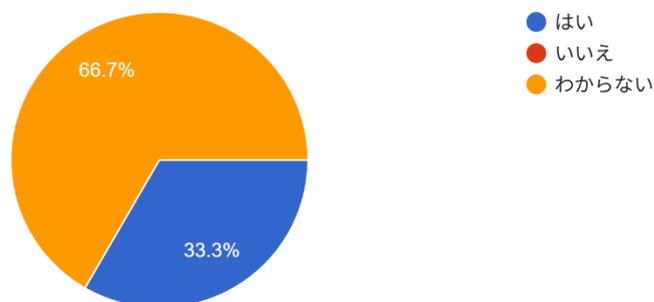


C. 事業所と地域のかかわり

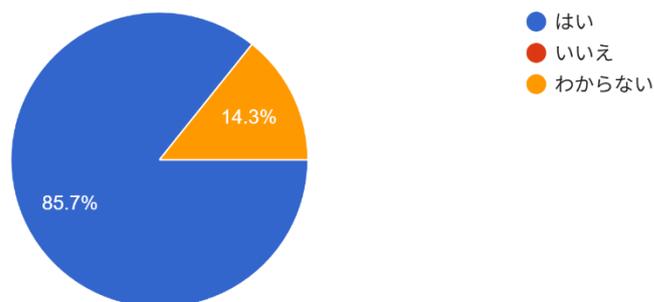
- 前回の改善計画について取組んでいましたか？

【前回の改善計画】

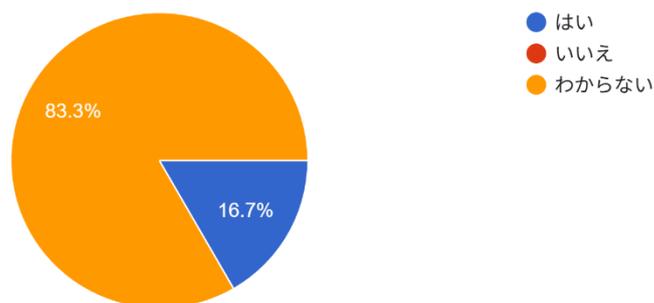
年に2回の広報誌を作成し、利用者様、家族様、地域の方へと配布し事業所の環境や活動を報告できるようにしていく。6件の回答



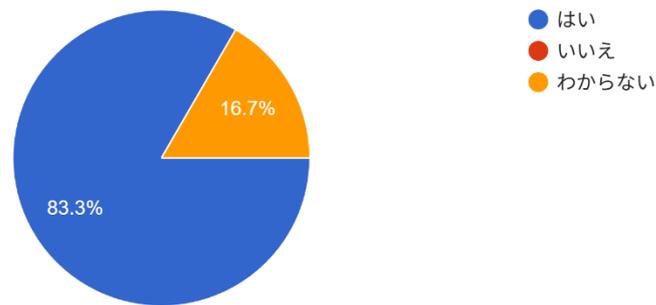
- 職員はあいさつできていますか？7件の回答



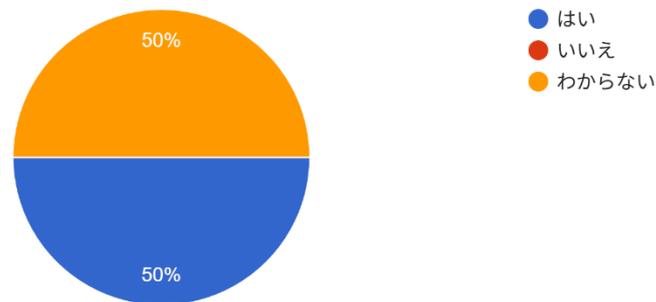
- 事業所は、地域の方に知られていますか？6件の回答



・何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？6件の回答



・事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？6件の回答

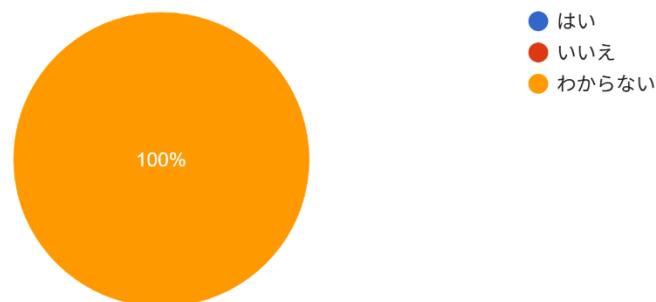


D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

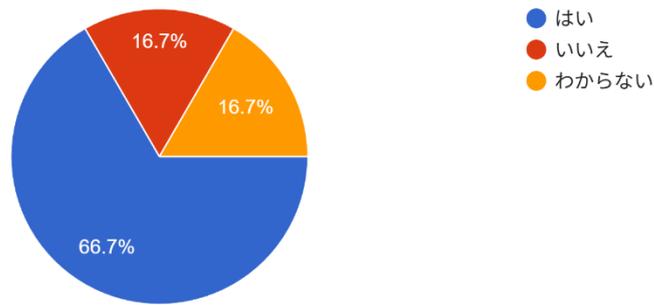
・前回の改善計画について取り組んでいましたか？

【前回の改善計画】

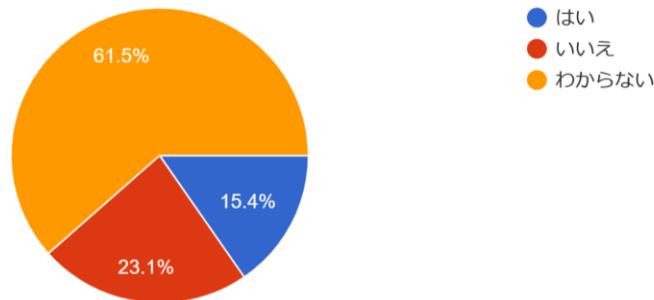
レクリエーションを活用し年3回展示会への参加をし、地域との関わり、暮らしにつなげる。6件の回答



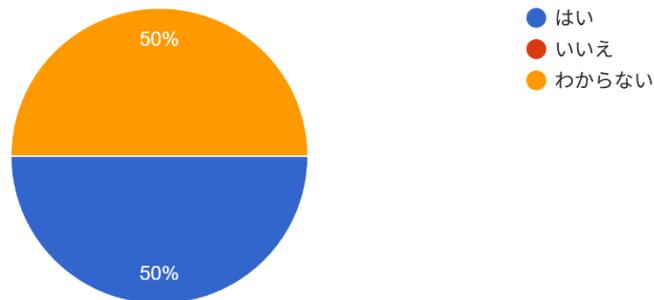
• 利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？13件の回答



• 利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？6件の回答



• 事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？6件の回答



• 利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？6件の回答

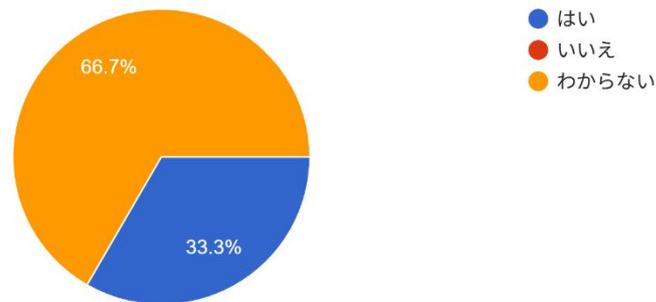


E. 運営推進会議を活かした取組み

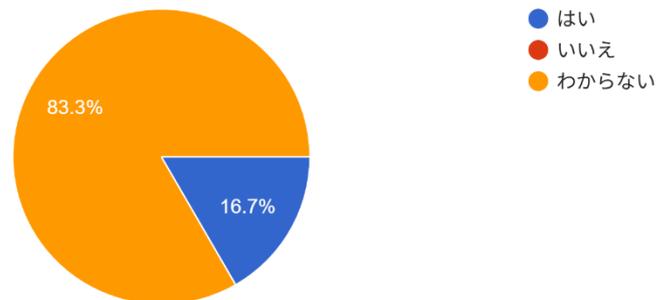
- 前回の改善計画について取組んでいましたか？

【前回の改善計画】

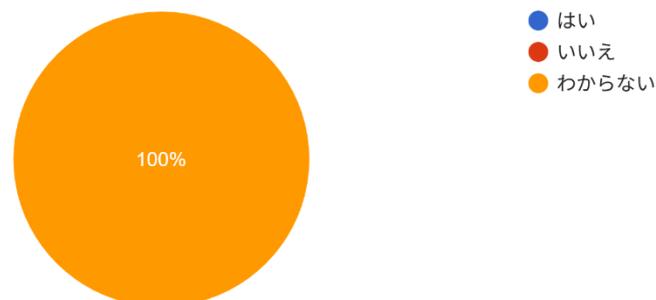
開催場所をJOYスペースで行い、運営推進会議へ参加しやすい環境を整える。6件の回答



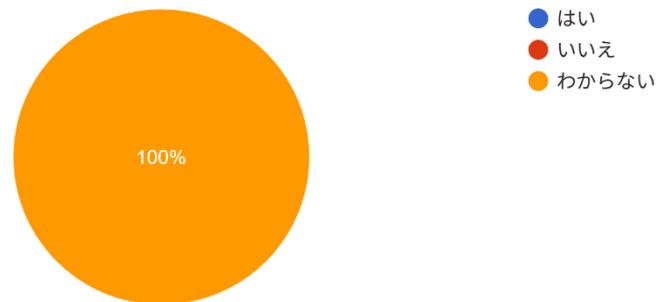
- 運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？6件の回答



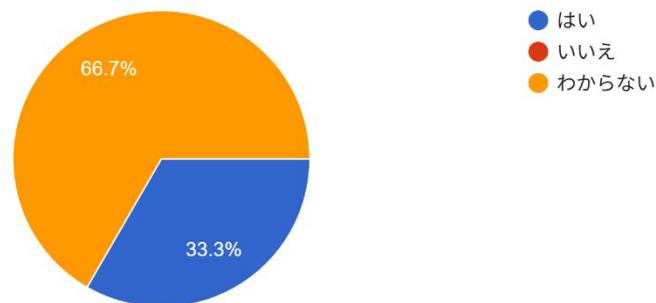
- 運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？6件の回答



• 運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？6件の回答



• 運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？6件の回答

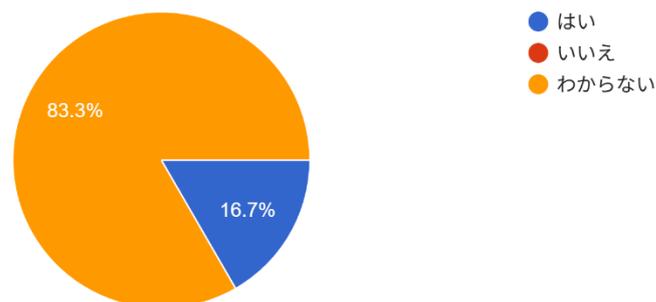


F. 事業所の防災・災害対策

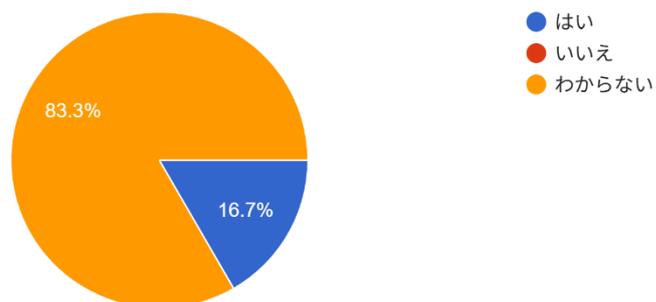
• 前回の改善計画について取り組んでいましたか？

【前回の改善計画】

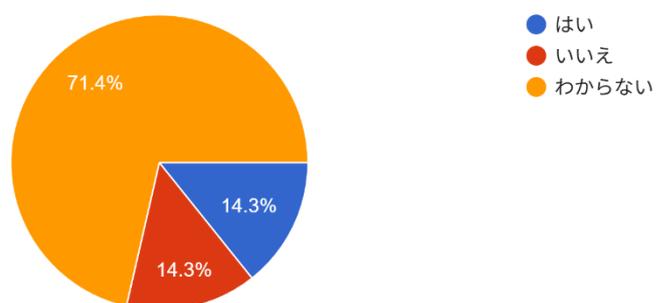
LINEを利用した連絡網を作り、安否確認の訓練を行う。6件の回答



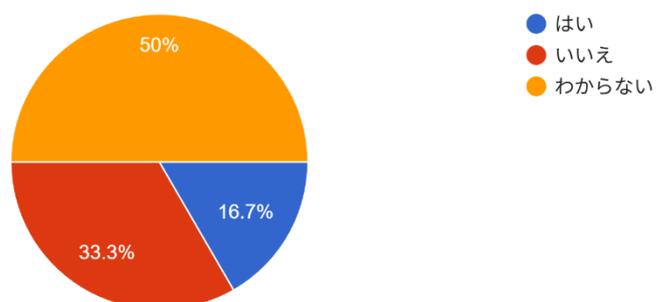
・事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？6件の回答



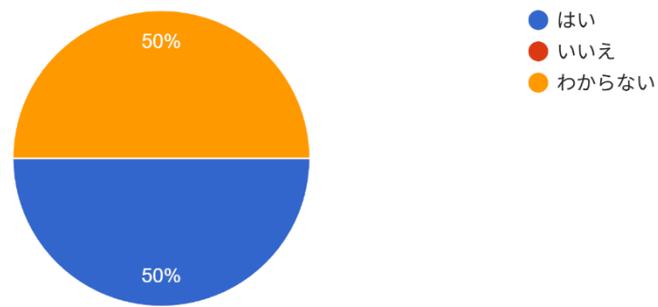
・事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？6件の回答



・事業所の防災訓練に参加したことがありますか？13件の回答



・災害時、事業所は頼りになりそうですか？6件の回答



自由記述 1件の回答

・山田さん、岩崎さん、スタッフの皆さん、いつもご親切にいただきましてありがとうございます。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人知多学園	代表者	磯部 栄	法人・事業所の特徴	知多学園の理念である「安心・信頼・人財」を主とし、小規模多機能型居宅介護の特性を活かし、常滑市の重要な社会資源として貢献する。常滑市を中心に拠点を構えており常滑市全域をカバーできるフットワークを持ち、急な事象にも対応する。
事業所名	Joyスペース	管理者	山田 佳佑		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	人	人	人	1人	人	1人	1人	4人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	少なくとも常勤スタッフ全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？※常勤とは週32時間以上勤務の職員（正規・嘱託・臨時職の別ではない）	自己評価シートを常勤職員へ配布し、各自で記入後、ミーティングにて内容の共有を行った。個々の視点から見た課題や強みが明確となり、日常業務の中で感じている課題を可視化することができた。一方で、評価後の具体的な数値目標設定や期限設定までは十分に落とし込めなかった点が課題として残った。	内部評価について、「何人中何人が参加しているのかが明確でない」との意見があった。評価の透明性を高めるためには、参加人数・対象職員の範囲を具体的に示すことが重要であるとの指摘があった。自己評価を実施していること自体は評価できるが、・常勤何名中何名参加・非常勤の関与状況・未参加者の理由などを明確にすることで、より客観性が高まるとの意見であった。	事業所自己評価の透明性を高めるため、参加対象者・参加人数（常勤〇名中〇名など）を明確に記録する。また、評価結果を職員間で共有し、課題については改善目標を計画的に取り組む。
B. 事業所のしつらえ・環境	年に2回の広報誌を作成し、利用者様、家族様、地域の方へと配布し事業所の環境や活動を報告できるようにしていく	業務多忙や優先業務の増加により、広報誌の作成には至らなかった。計画段階で役割分担やスケジュール設定が十分でなかったことが要因と考えられる。	・広報誌は作成できなかった。 ・建物の駐車場入口が分かりにくいとの指摘があった。 ・開設から10年が経過しているが、床等は清潔に保たれており、環境整備は適切に行われているとの評価があった。	誰もが入りやすい環境を整える為、駐車場からの入口にJOYスペースがわかるように看板等を設置し案内ができるようにする。
C. 事業所と地域のかかわり	年に2回の広報誌を作成し、利用者様、家族様、地域の方へと配布し事業所の環境や活動を報告できるようにしていく	広報誌の発行ができなかったため、地域への積極的な情報発信は十分に行えなかった。地域との直接的な交流機会も限定的であった。	地域との関わりとして、 ・スクールガードへの参加 ・地域会議への出席	スクールガード活動や地域の防犯会議への参加を継続し、地域との関係づくりを行う。また、地域活動の情報収集を行い、事業所として関わるができる機会を検討していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを	レクリエーションを活用し年3回展示会への参加をし、地域との関わり、暮らしにつなげる	展示会への参加を通じて、利用者の作品を地域へ発信する機会を設けた。外出や社会参加の機会となり、利用者の意欲向上や自己肯定感の向上につながった。	特段の意見は出なかった。 現状の取り組みについて大きな課題は示されなかったと考えられるが、今後も地域参加の機会を継続することが望ましい。	展示会への参加など、地域と関わる機会を継続して設ける。レクリエーション活動で制作した作品の展示を通して、利用者が地域とつながる機会を維

支える取組み				持し、社会参加や意欲向上につなげていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	開催場所をJOYスペースで行い、運営推進会議へ参加しやすい環境を整える	JOYスペースにて開催し、事業所内の雰囲気や取組みを直接見ていただく機会とした。しかし、家族の参加はなく、家族の視点を十分に反映できなかった。	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域包括支援センターと事例検討等を行っている点は評価できる。 ・運営推進会議への参加依頼は行っているが、仕事の都合や家族の高齢化により出席が難しい現状がある。 	運営推進会議へ興味を持ってもらう為にも、家族様が参加しやすいように事前に困りごと等のアンケートを配布し参加へつなげる。
F. 事業所の防災・災害対策	LINEを利用した連絡網を作り、安否確認の訓練を行う	LINE未登録の方もいるため、メールアドレスの登録を行い、非常時の連絡体制強化を図った。	特段の意見はなかった。連絡体制整備は進んでいるが、今後も実践的な訓練の継続が重要である。	災害時の訓練として、連絡網を利用した安否確認訓練を年2回行い、意識向上に繋げる。